



TOKYO 2020

第6日

# ボート

## 日本12位

### 混合かじ付きフオア

日本勢は7～12位決定戦に出場し、女子シングルスカル（運動機能障害PR1）の市川友美（湖猿）は14分14秒59の5着で11位となつた。

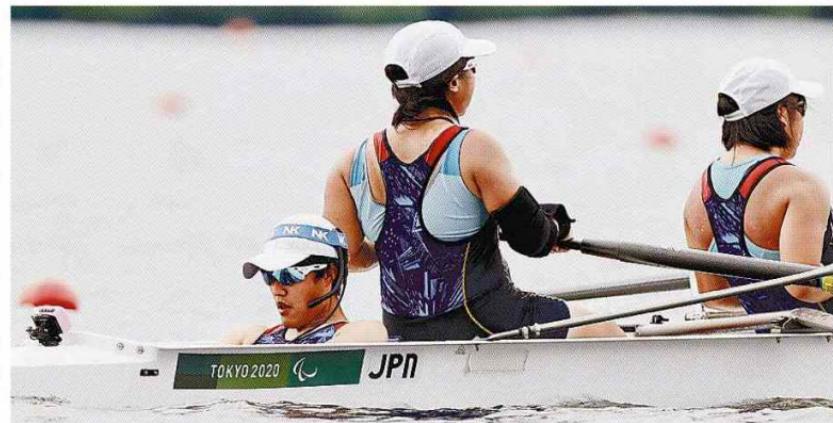
混合かじ付きフオア（運動機能障害・視覚障害PR3）の八尾、木村、西岡、有安）は8分36秒89の6着で12位に終わった。

3）の日本（八尾、木村、西岡、有安）は8分36秒89の6着で12位に終わった。

▼立田「技術も体力も足りない」 推薦枠で混合かじ付きフオアに初出場した日本は7～12位決定戦で6着となり、最下位の12位に終わった。

視覚障害の男女2人と上下肢障害の男女2人の計4人がこぎ手を務め、直線2千㍍で争った。スタートから飛ばしたが、500㍍すぎに強風でバランスを崩し、徐々に差を広げられた。トップに57秒05差の8分36秒89でフィニッシュ。海外勢との力の差を見せつけられたが、「気持ちでこぎ切る」というテーマは貫き、最後まで諦めず艇を進めた。

コーチ兼任の健常者で司令塔役のコッククス（舵手）を務めた立田寛之＝埼玉・戸田中央総合病院ク、石狩翔陽高出＝は「日本は技術も体力もまだ足りない。もっと強くなりたい」と前を向いた。（加藤祐輔）



混合かじ付きフオアで12位に終わった日本。コッククスの立田（左手前）がクルーをけん引した

▽女子シングルスカル（運動機能障害PR1）7～12位決定戦  
市川友美（湖猿）14分14秒59  
△混合かじ付きフオア（運動機能障害・視覚障害PR3）7～12位決定戦  
有安8分36秒89  
⑪市川友美（湖猿）14分14秒59  
⑫日本（八尾、木村、西岡）12位